

【NEWS RELEASE】

2021年6月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社M I Cの「SDG s 推進私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社M I C（代表者：増田 信夫）の発行する「SDG s 推進私募債」を買受けいたしました。

「SDG s 推進私募債」は、私募債買受け時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、株式会社M I Cについては、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 中古車によるレンタカー事業を通じた循環型社会への貢献、地域における安価で利便性の高い移動手段の提供

目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.1 2030年までに、すべての人々の、適切、安全かつ安価な住宅および確認結果基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。
目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

- ② 車検漏れ防止・適切な車両整備による交通事故の防止、災害対応型給油所の設置による災害時への備えの提供

目標 3 すべての人に 健康と福祉を	3.6 2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。
目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.5 2030年までに、貧困層および脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。

三井住友銀行では、「SDG s 推進私募債」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



中古車販売を促進すること
による循環型社会を実現



レンタカー事業では「ニコニコ
レンタカー」ブランドで事業展開



災害対応型給油所の設置、
適切な車両整備の実施

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことで

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。